

平成 26 年 11 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

11月には、サービス業、食料品及び繊維工業等の一部や一般機器、輸送機器、建設業からは受注や売上が増加したとの報告であるが、食料品及び繊維工業の一部や卸売業、木材・木製品、印刷、小売業、商店街等からは、受注や売上が減少したとの報告があり、事業者により業況も違い、依然としてまだら模様である。

景気の回復感も見られるが、未だ回復の見られない事業者も多い中で消費税増税が延期となり、ひとまず安堵といったところである。8%への消費税増税分の転嫁や材料費等のコストアップ分の転嫁が十分に出来ていない事業者もみられ、今後の景気動向に目が離せない状況である。

山口県の主要指標 DI 値（平成 26 年 11 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

- 業界の景況**（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）
 前年同月比は、**好転：7.5%** 悪化：36.3% **DI 値：▲28.8%** ポイント
- 売上高**（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）
 前年同月比は、**増加：18.8%** 減少：28.8% **DI 値：▲10.0%** ポイント
- 収益状況**（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）
 前年同月比は、**好転：13.8%** 悪化：25.0% **DI 値：▲11.2%** ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 26 年 11 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲57.1	▲50.0	▲66.7	▲100	▲16.6	11.1	100	▲24.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業
0.0	▲66.7	▲75.0	▲41.7	10.0	▲28.6	▲31.9
						

全 体
▲28.8


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	11月はお菓子のイベント（ひな祭り等）がなく売上は低調。特に客単価の減少が目立ち、収益を圧迫している。消費税増税の見送りに安堵している組合員が多い。	パン・菓子製造業
	10月度は確定+14%で大幅アップ。上半期4～10月累計も前年同期比+13.5%と好調に推移。11月は11/27時点で昨年比+20%超と依然高水準の売上が継続している。もろもろの要因が複合しての好成績であるが、全国TV放送の連発などメディア露出の効果が最も大きいと分析している。11/08 TBS系全国放送「知っとこ」にて、「わざわざ行きたい道の駅/全国ランキング」で堂々の全国第一位。日経ビジネス11/24発売号、「日本のイノベーター12人」特集にも登場。	水産食料品製造業 萩市
	円安の進行が速すぎ、様々な物が値上がりをするので全体的に消費が落ち込んでいる雰囲気があり、今後の動向が不安である。また、近年原料の入手が難しく、事業を継続していくのを考えるまでに至っている。	水産食料品製造業 下関市
	8月の長雨の天候不順の影響で、作業の進捗状況が遅れ気味となっている。また、昨今の米あまり基調に伴い、本年度の米の取引価格について、大幅な下落（2年前のお米の取引価格の約40%程度の下落）はとても受け入れがたく、このままでは、米の生産の継続ができなくなる生産者が増えることが懸念されている。	精穀・製粉業
繊維工業	販売取引先の新商品の切換えで一時的に受注増となり、1月までの生産予定が決定した。ただし、依然として店頭の販売状況は良い状態でなく期限付きの受注であり、先が読めない。	下着類製造業
	受注ロットがより小さくなっている。材料費・給与等のコストアップ分が転嫁できていない。大企業は回復したもようであるが、中小企業は未だ回復していない。	外衣・シャツ製造業 山口市
	消費の動きが鈍い為、生産量が減少気味で、通常は受けないメーカーの仕事を受注し繋いでいる。	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	新設住宅着工数は、前年同期マイナス15%で低調。スギ中丸太（なかまるた）価格は、品不足から上昇傾向にある。	製材業・木製品製造業 山口市
	民間の需要の落ち込みが激しく、回復基調に至っていない。	製材業・木製品製造業 下関市

印刷	衆議院解散に伴い、消費が低迷する事が予想される。急激な円安により原材料及び経費の負担が増えてきている。消費物価の相次ぐ値上げで景気の先行きは暗い。救われているのは原油価格の下落(1バレル147ドルが現在半値)で円安がカバーされている。	印刷 下関市
	受注が無く、売上も少ない。	印刷 山口市
窯業・土石製品	昨年度に比べると出荷数量は確実に減っている。年末で入札数が少し増えたが、砕石を使わない工事もある為、結果としては厳しいまま。取引先も毎年のように倒産が出るため、今では随分減ったとのこと。賦課金も少ないため、組合維持が難しい時代になってきたようだ。	砕石製造業
	出荷量は、前月比119%、前年同月比102%で、ほぼ前年並みである。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていないが、砂、砂利、など原材料価格の値上げ圧力が高まってきている。	生コンクリート製造業
	後継者(40歳代)に「技術の伝承」と「業界の存続」についての危機感が出てきた。売上は前年同月より増加している。	石工品製造業
	「テーブルウェアフェスティバル」(2015年2月1日～2月9日まで、名古屋ドーム)に出展します。	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	11月の景況は、ここ2～3か月と同じく好調。自動車関連・構造物製造関連は、前月に引き続き良好。雇用関係は、求人難が続いている。12月14日の選挙後は早急に、補正予算を組み立て全国的に沈滞している景気を浮上させて頂きたい。	一般機械器具製造業 防府市
	機械製造・食品加工・スーパー等の人手不足から、外国人技能実習生早期受け入れや増員の相談があるが、実習生の場合は入国まで6ヶ月位必要となるため、つなぎのための臨時職員の紹介を依頼されることも多い。ハローワークに登録しても臨時職員の確保も難しく、一部、派遣頼みの企業もある。また、外国人留学生の就職を希望される企業もある。	一般機械器具製造業 宇部市
	前月通りで推移。売上高が増加傾向。	一般機械器具製造業 宇部市

	<p>設備操業度は10月と同等。金型製造関係の設備操業度は前月と同等の状況。マシニングセンターの稼働を上げる事で生産性はアップしたが、なかなか目標の稼働率に達しない。1品目毎の金型生産のため、図面、プログラム、セッティング（ワーク、工具）に手間がかかる。放電加工機においては極力M/C加工に置き換えるようにし、部分的に放電加工が出来るよう常に設計、加工を含め改善意識を持ち行っている。12月の仕事量はなんとか確保出来たが、来期に向けて不安要素は多々ある。金型は、リピート金型、過去の類似型等を継続的に受注できているが、来期の受注も進めて行かなければならない。今期後半は特に、価格面で非常に厳しくなり、客先からの価格ネゴが止まらない傾向に有る。他社金型メーカーへの相見積もりも年々厳しくなっており、価格面での折り合いが一段と厳しい状況。成形製品関係の生産状況は新規案件製品の売上は少しずつ上昇傾向にあるが、既存の民生部品（家電部品、電子部品）の売上は伸び悩んでいる。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>変わらず、人員・人材不足が続いている。</p>	船舶製造・修理業
	<p>精密加工部門が低迷から立ち上がり好況域に入ってきた。車両部門も作業量の低下が予想されたが、落ち込みが小さくまずまずの業績を続けていける見通しである。産業プラント部門は今期は多忙な作業量で好況といえる。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>売上は増加しているが、利益率は下がっている。景気は良くなっていない。</p>	各種商品小売業 山口市
	<p>大型商業施設等が増加し、地元からの商品仕入れ調達が減少している。</p>	各種商品小売業 下関市
	<p>販売不振で今月は今年最悪の売上高となり、景況感 は良くない。12月からは9月種付けの海苔の入札 が始まるので、12月に期待したい。</p>	乾物卸売業
	<p>衆院選の告示により、飲食店の需要が激減すること を懸念している。年末に向けて要注意である。</p>	生鮮・魚介卸売業
小売業	<p>下旬になって冬季限定商品が出揃い、メーカーの方 でも前年対比の売上コンテストが始まり頑張ろうと 活気が出てきた。化粧品組合の全国大会が仙台であ り、役員4名が参加した。</p>	化粧品小売業
	<p>組合員事業所のサービス業は、苦境が鮮明。大型店 の影響を受け続ける上、経営者自身や顧客の高齢化 による悪循環から抜け出せない状況。美容院・鮮魚 は善戦。組合は12月8日（月）より12日（金） の間、5倍シールポイント年末商戦に入る。ボーナ ス時期で期待している。消費税10パーセントへの 移行は先延ばしとなったので歓迎している。ただ円</p>	各種商品小売業 岩国市

	<p>安で物価が上昇中であるので、収益は悪化している。消費者の動向がカギ。地区内の中小企業者の動向は、求人倍率が上昇しているが、雇用のミスマッチが続いており、正社員での雇用は少ない。太陽光発電での売電がストップとのニュースが話題だが、中国電力は当面継続とのことであるが今後の動向に注意が必要。新米の時期であるが生産者の直接販売が増えており、米取扱い事業者には打撃となっている。</p>	
	<p>前年より休日が2日多いにもかかわらず、売上は減少。年末商戦もあまり期待が持てない。</p>	<p>各種商品小売業 山口市</p>
	<p>4月より売上高の減少が続いており、売上高の減少は消費税増税の影響が大きいと考えられる。</p>	<p>各種商品小売業 下関市</p>
	<p>これまで同様、既存店の売上ほぼ前年並みだが、施設全体の売上・来店客数にすると、かなり前年を下回る状況。</p>	<p>各種商品小売業 長門市</p>
商店街	<p>客数と駐車場台数は先月より増だが、売上は今一つである。12月6日より恒例イベントの「山口デー」と、ボーナス時期でもあるので期待したい。</p>	<p>山口市</p>
	<p>商店街全体から見ると消費税増税の影響が続いている。繊維製品の店では、海外生産のコストアップに伴い製品価格もアップし、販売に苦慮している。消費税10%への増税は商売としては、死活問題であると口々に言われる。</p>	<p>萩市</p>
サービス業	<p>節約ムードがずっと続いている様子だったが、最後の週になって、年末ムードに入ってきたのか、消費税増税の延期の話のせいなのか、例年どおりとなるような気もする。</p>	<p>美容業</p>
	<p>生活に一生懸命で気持ちに余裕が持てない感じで、街中に「おしゃれっっぽい」人がいない。もっと身だしなみに気配りをしておしゃれを楽しんでほしい。</p>	<p>理容業</p>
	<p>GDPの速報値が発表されたが4月以降2期連続のマイナス成長だった。個人消費の落ち込みが大きな原因だが、自動車関係は販売だけでなく整備も大きく影響を受けている。</p>	<p>自動車整備業</p>
	<p>景気の回復の道は長い。基本的には、前年と比べて減少傾向にあり歯止めがきかない。</p>	
	<p>フィットネスジムは、65歳以上の男性会員が増加傾向にある。スイミングは8月の天候の影響で短期水泳教室の集客が良くなく、そのリカバリーが出来ていない。その後の大きな動きはない。</p>	<p>スポーツ・健康教授業</p>
	<p>11月は好調。地元宴会等も前年どおりに集客でき、行楽シーズンの観光客で賑わい、お土産などの購買意欲もあり、売上の底上げとなった。12月には選挙の関係の悪影響が予想される。関東方面のお客様</p>	<p>旅館業 下関市</p>

	<p>が増え関西からの集客は落ちている。ふぐ料理より蟹料理が売物の方面に旅行をしているとのことで、山口の“ふく”の挽回に期待をしている。</p>	
	<p>宿泊人員は対前年96.2%と前年割れであったが、売上高は単価アップにより、前年並みに推移した。</p>	<p>旅館業 山口市</p>
	<p>11月の売上高は前年比は変わらず。人件費等の削減により一般経費削減。消費税負担増は影響増加。入浴者数は前年変わらず。</p>	<p>旅館業 長門市</p>
	<p>物価は容赦なく上がり続けているが、給料は上がらない。可処分所得は、マイナスの状況。個人の家計がひん死の状況では、家計と直接的関係にある「飲食業」は厳しい。厳しさは、零細飲食業だけにとどまらず、大手のチェーン店も厳しい状況にある模様。大手チェーン店の縮小は、山口県のような人口が少なく、高齢者が多いところから始まる。この点からは、県内の飲食業には有利だが、このことを生かす、財力はない。いずれにしても、飲食業だけで頑張れる時代ではなく、いまこそ「地産地消」を本気で取り組むべき時期だと感じる。公共機関の語呂合わせ施策でなく、生産者、消費者がともに享受するシステムが必要。環境に適合した「食」が提供できる仕組み・味を、全業界が協力して作り上げる時期が来たが、簡単に春は来ない。12月は、客単価は伸びていないが、全体的に「利用客」は増加している。その分、1月の反動が大きいと予測されている。この状況が続けば、ますます「客単価の低下」、「外食頻度の減少」が重度となり、高齢化も相まって飲食業界の体力は低下の一途をたどる。</p>	<p>飲食業</p>
	<p>例年並みの忙しさだが、地域によっては秋の繁忙期がなかったりと差がある。高齢化の進む地域では、新たな販促メニューにあまり反応が得られず厳しい状況が続いている模様。業界の景況はではインターネットや宅急便などを利用して、地域外からの顧客の獲得など今までにない販路が求められてきている状況なのかもしれない。消費税率10%が先送りされ、税率8%での新価格にもひとまず慣れてもらえると思うが、消費税率8%でしっかりと価格転嫁していない店もある。この先の増税や資材の値上げなどにもしっかりとした対応ができるように各店舗で取り組んでいきたい。</p>	<p>普通洗濯業</p>
<p>建設業</p>	<p>中電への工事申請は10月248件（当支部分221件）、前年同月311件（同252件）。太陽光発電への申請33件、オール電化申請50件（前年は太陽光42件、オール電化67件）。LED街路灯への切替・新設申請は71件（前年126件）であっ</p>	<p>電気工事業</p>

	た。	
	中だるみであった夏から年末・年度末の繁忙期に向かっている。技能者不足が深刻で工事の施工依頼を断る事例が増えている。昨年度末と同様に工期が延期される工事も発生するものと思われる。	左官業
	上半期に比べ、下半期の方が少し忙しくなっているので、資格取得準備等講習会は上期に開催しないと下期の開催には申し込みも少なくなる模様。20年前から建設業のイメージアップを叫んでいるが、もともと低いイメージのアップをするのではなく、イメージチェンジが必要である。男性に元気がないので、女性に期待したい。	土木工事業 柳井市
	26年11月の受注高は、対前年同月比で136%。今年度の累計では463%。	土木工事業 萩市
	工事の2月末納期の関係で、例年、11月の発注件数は数件となり、12月の発注は殆ど無い。今年度の組合員の状況は、既に十分な仕事量を受注できており、納期に向けて工事を熟す時期となっている。人手不足が続いており採用の検討もしたいが、2月～5月までは、発注も殆ど無い状況が続くので、踏み切れない面もある。	管工事業
運輸業	薄板鋼板からアルミ等の軽量化により車両一台に数個の積載で運送が可能となるが、長距離ドライバー不足が依然として続いており対応が出来ていない。売上高は約1割の増で、燃料費も2.2円の値下げとなっているが、中小運送業者は未だ景気回復の恩恵に与ることが出来ていない。	一般貨物自動車運送業 下松市
	今月の売上は昨年水準に落ち着いている。スポットの需要はあるが上向き傾向にあるとは言い難く、低い水準で推移している。燃料価格はこの数か月、下落傾向にあるが、これは一時的なもので、基本的には上昇傾向にあると思われる。	一般貨物自動車運送業 防府市
	物流に関しては11月も好調である。年度末による公共事業の増加や年末の物量の増加が影響しているようである。倉庫業は運送以上に荷動きが激しく、作業人員が足りない状況が続いている。運転手と倉庫作業員の雇用の確保に注力しているところである。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	円相場は1ドル118.50円で円安であった。市中のガソリンスタンドでは10126円のところ、組合の購入価格は120円となった。毎日の生活必需品も値上がり、生活が厳しくなって景気が悪くなっている。仕事が減少し売上も減少気味のため、社員の賃上げも所有するトラックの買い替えも当分できないと思う。組合のETC手数料は平均した売上と	一般貨物自動車運送業 下関市

	<p>なっている。</p> <p>タクシーチケットの取扱い金額は、消費税込みの金額で、前年比+3.5%（平成26年10月1日～平成26年11月20日分）。10月1日～31日分は+6.4%、11月1日～20日分は△0.8%となった。10月分は増加したが、11月分は再び減少。10月分については、下松，光，防府地区が前年より増加、周南は、ほぼ前年並みであった。主要燃料については原油価格の下落に連動して、ブタン・プロパンのCP（通告価格）が前月分よりもさらに下降。円安が進んだが、購入単価は先月よりも6%下がっており、前年11月分に比べ▲5%安価となった。10月は増収であったが、長く続いた売上の減少により、タクシー事業者も乗務員も疲弊している状況。乗務員の収入も減少しており、高齢者の退職もあって、どのタクシー事業者も、乗務員の確保困難が続いている。11月の利用減少が懸念され、衆院選の影響で12月忘年会等の繁忙期の利用減少が大いに気掛かりな状況。</p>	一般旅客自動車運送業
	<p>荷動きについては先月と同様、若干の増加傾向が見られるが、売上高“増加”とまでは言えない状況。</p>	港湾運送業